

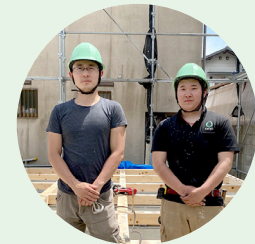
ただいま新築着工中

長岡京市東和苑



現場メッセージ

無事に上棟がおわってほっとしています。のんびりぐらしの家には伝統的な大黒柱を残しています。上棟の一週間前から京都の北山で育ち磨かれた杉の丸太が届き、前もって図面を見ながら寸法を測り手で刻んでいます。昔から続く大工の仕事を継承した家づくりをおこなっています。



担当：長谷川【棟梁】
山下【大工】

断熱見学会 10月16日(土)・17日(日)
10:00~11:30 / 13:00~14:30

現地にて見学会を開催します。壁で閉じる前の断熱構造をすべて見せます。構造についてや、調湿作用に優れ躯体に負担のかからない断熱材(セルローズファイバー)についてお話しします。

現場メッセージ

天井や床をはじめ、壁まで杉板を使用した新築現場です。

天然の材木を使用しており、さまざまな色合いの板が集まります。色に偏りがないよう自然に配置するのも大工のセンスの見せ所です。また天井と壁、床と壁など材木がおたがいに美しく収まるよう設計図とにらめっこしながら段取りを組み、つくりあげています。



担当：片桐【棟梁】山口【大工】



| イベント報告 |

去る8月28・29日に大原野灰方町にて完成見学会を開催しました。大原野に移住や住み替えを検討中の方など、多くの方にお越しいただきました。「リビングの窓から見える山と畑の風景が大原野らしくて素敵」とのお声が上がっていました。



| 開催情報 |

移住計画 のんびりぐらしツアー

10月30日(土)・31日(日) 10:00~12:00

集合場所/ご予約の方に別途ご案内します
大原野への移住に適した土地をご紹介しますながら、大原野を歩いて巡ります。

同日開催! 石作のんびり舎で、のんびり暮らし移住セミナー

講師/小野富雄 個別相談/ ①13:00からの部 ②15:00からの部

石作のんびり舎で相談会 11月6日(土)・7日(日)

● 相続に向けて相談 講師/山下順平

● 資産活用相談 講師/小野富雄

個別相談/ ①10:00からの部 ②13:00からの部 ③15:00からの部



ツアー・見学会・相談会は**予約制**です。お申込み・お問合せは **075-335-2254** 株式会社小野建築設計まで



去る8月22日、長岡京市うぐいす台モデルハウスにおいて、 設計コンペ作品の最終審査が行われました。

小野建築設計の家づくりに欠かせない「土間」と、昔から人が集まる場所にあった「火」を中心に据えた住まいをテーマとしたコンペを開催しました。西山を臨む立地・大原野の田園風景の生かし方・住宅地との関係性・変わらないものとの融合をポイントに、最終審査を行った結果、以下の作品が受賞となりました。おめでとうございます。また惜しくも賞に選ばれなかった方も、審査員一同敬意を表します。ありがとうございました。

審査員

半海宏一建築設計事務所
京都橘大学専任講師 半海宏一

HARU建築設計室(株) 代表
島津陽慎

(株)小野建築設計 代表
小野富雄(特別審査員)

(株)小野建築設計 設計
藤田彩希

金賞

『開いて 結んで
火を囲んで』

中谷 祐紀
(滋賀県立大学)

「火の居場所」と称された空間に田舎暮らしを感じ、火と家族の動きが土間を通じて斬新に設計されていた。敷地全体計画ができており、菜園には食べる植樹計画など、敷地を歩き回る楽しさが見える。



銀賞

『火と風と共に
暮らす』

真壁 智生
(大阪工業大学大学院)

登り窯のように内空間が南にだんだんと上がって、窯の暖気も共にのぼっていく構成が面白い。すべての窓から西山が望め、大原野の変わらない風景を家に取り込んでいた。



銅賞

『土間の繋ぐ家』

吉田 空良 (工学院大学大学院)

パブリック〜プライベートになっていくコミュニティの濃淡を土間の高さや設定・使い方で調整している。建物の配置や角度で自然を取り込む工夫がなされていた。



特別審査員賞

『のんびり土間の家』

谷口 博亮 (京都芸術大学大学院)

家の中心の土間と火が、コンセプトを明確に伝えてくる。色々な庭が配置され、庭と暮らしが絡まり合って、自然を感じながら家の中でゆったりとした時間を過ごすことができる。



奨励賞

『招く家』

杉山 里香 (大阪成蹊大学)

お客様を招く導線として角度をつけた土間が面白い。家族・ご近所さんとの集まる時間、西山を眺めるのんびり暮らしが想像できる。



参加者作品の詳細は小野建築設計ホームページにて公開しています。
<https://ono-k.com/>

